令和８年度卓越した技能者（現代の名工）被表彰者名簿

職種名	ふりがな 氏名 （年齢）	所属	技能功績の概要
鋳物工	はった　ひさあき 八田　久明 （６１歳）	株式会社クボタ 恩加島事業センター	量産鋳物の金型製作・補修から中子（鋳物内部の空洞をつくる砂型）、造型、鋳造、鋳仕上げまでの全工程に精通し、高精度鋳物の量産を支える卓越した技能を有する。 独創的な金型補修技術や改善治具の開発により、金型の長寿命化、保全作業の効率化、品質の向上と安定化を実現し、生産性向上にも大きく貢献した。 また、長年培った知識と経験を活かし、社内外の教育活動や海外技術指導、技能検定指導を通じて後進の育成に尽力し、鋳造技能の伝承と技術水準の向上に顕著な功績を挙げている。
打刃物製造工	いけだ　よしかず 池田　美和 （７９歳）	池田鍛錬所	本焼入れの技能に卓越している。本焼きは刀剣の焼入れ技術を取り入れたもので、単一の鋼に焼入れ用の粘土を塗り重ね、上半分に塗り重ね（焼を防止する）乾燥後水又は油で急冷し焼をする。中でも安来鋼白１号から、白２号の水焼入れは紋様の不具合及び焼割れが生じ易く困難を伴う。他の鋼種安来鋼青１号、青２号、青スーパー、白３号入についても差は有れど同様である。 後継者として長男を指導しているが、昨年末まで、兄の孫を指導し、現在独立して本人の叔父と共同経営している。
金型製造工	やまぐち　たかし 山口　隆 （６２歳）	独立行政法人造幣局	貨幣やメダル等に模様を転写する金型（極印）の製造作業に長年従事し、印面修正、砂吹き及び首研削作業等において高度で卓越した技能を有している。 特に、マイクロレベルの精度が要求される極印加工技術に優れており、純正画一な貨幣の製造に大きく貢献している。 また、極印下地の内製化等の業務改善に積極的に取り組むとともに、自らが有する優れた技能と幅広い知識を後輩職員へ惜しみなく伝承し、極印製造における技能伝承と人材育成にも大きく寄与している。

職種名	ふりがな 氏　　名 （年　齢）	所　　属	技能功績の概要
時計修理工	たまだ　ひさお 玉田　壽夫 （７３歳）	有限会社岩崎時計店	時計部品の修復及び製作の技能に卓越しており、ひとつに、歯車の軸真の先端の折れた０．０７㎜の製作再生、数～数十μm単位での修復、調整を容易に行う技術を持つ。歯車やぜんまい、入手が困難な部品の修復、整形、研磨する技能を重視し、修理方法の研究開発をしている。 また、後進への指導として職業訓練校講師として１０１名を送り出し、現在は非特定営利団体を運営し、４０名に対し講習会で技能の育成を行い業界の発展に寄与している。
タイル張工	よこた　はるゆき 横田　晴行 （５９歳）	株式会社平田タイル	補修作業で求められる湿式工法から新築現場で求められる乾式工法まで幅広い技術と知識を併せ持っている。 既設外壁に施工されているタイルを細心の注意を払い斫り取り、付着モルタルを除去して再利用する生け捕り工法が採用された京都祇園の弥栄会館リニュ―アル工事では根気と丁寧さが必要とされ、更に品質、工程、安全管理に務めて従事した。 後進の指導育成では令和６年度に２名、令和７年度に２名の技能五輪出場選手を送り出すほか、長年にわたり、大阪府技能検定委員を務めている。
園芸装飾師	なかむら　てつや 中村　哲也 （５９歳）	有限会社中村造園	竹垣や竹を用いた添景物の作成に長けており、その技能と長年の知識で、第２９回技能グランプリ園芸装飾部門において、金賞を獲得した。 また従業員を指導し、第３２回技能グランプリ同部門にて、金賞を獲得させることに成功した。 園芸装飾技能検定の技能講習において、長年にわたり講師を務め、技能グランプリの補佐委員も務める等、業界の発展に寄与するとともに後進の育成に貢献した。

職種名	ふりがな 氏　　名 （年　齢）	所　　属	技能功績の概要
ガラス製品製造工	まつだ　ゆりこ 松田　有利子 （５８歳）	山月工房	泉州地方に伝わる古来の伝統技法に卓越している。この伝統技法とは、粉かけ、トンボ、銀彩、かぶせ、チャブ、ちぎり、蜻蛉玉（とんぼだま）の土台となる巻付けでは、大きさ（１．５ｍｍから５０ｍｍ）や色彩の複製、端口（穴の端）のなめらかな成形，仕上げがある。 これらの技術により国宝の復元、文化財の修復を実現した。 さらに、国宝ガラス材料の組成研究開発を実施した。後継者の育成では、奨学金制度を設け希望者の窓口を広げ､また府立高等学校での技術指導、地域の小学校での出前授業にも尽力している。
内張工	さかとう　たかし 阪東　隆 （５３歳）	株式会社さかとういす	いす張りの伝統技能を礎に､CADをはじめとするデジタル技術を積極的に取り入れ、独自の工夫により設計・加工技術を確立し、複雑な意匠にも高い精度で対応し、品質向上と作業工程の効率化を実現した。 長年にわたり技能検定やものづくり教室等で後進の指導に携わり、現在は大阪椅子張技能士会会長として技能の普及と若手の育成を推進している。大阪・関西万博でのものづくり体験等にも取り組み､いす張り技能の魅力を発信するとともに、次世代への技能の継承と業界の発展に貢献している。
印判師	ひらやす　りゅういち 平安　隆一 （６２歳）	有限会社鳳文堂印舗	早くから展覧会において文字とともに絵柄を彫刻する密刻分野に熱心に取り組み、緻密な彫刻を習得、流れるような曲線を用い計算された空間の粗密を表現したアレンジで芸術的表現を成し得ている。 第２１回全国技能グランプリでの２位受賞をはじめ、第６７回大印展では最高位賞を受賞する等業界の展覧会で数多くの受賞経歴を持つ。大阪府印章業協同組合において六年間理事長を務め、業界の発展・技能の啓蒙に力を入れ、近畿印章業連盟主催の技術講座では主任講師を務め、技術者をめざす後進を指導した。

微細加工実験工	あまの　かずひさ 天野　和久 （６１歳）	独立行政法人造幣局	貨幣の偽造抵抗力の向上に関する研究開発、製造技術の高度化及び製造工程の効率化に関する研究業務に長年従事し、特にマシニングセンタ、レーザー加工機及び電子線描画装置による微細加工において高度で卓越した技能を有している。研究開発に携わった潜像加工、虹色加工、ホログラム潜像加工等の加工技術は、様々な記念貨幣に採用されている。 また、長年の経験による優れた技能と知識をもって後輩職員への指導に尽力し、貨幣の偽造抵抗力に関する技能伝承に大きく貢献している。